

富士登拝修行、代参守のご案内

富士登拝修行は平成十九年に執行され、本年で十一度目の登拝となり、本年も七月三十一日から八月五日の行程で、高尾山麓から富士山頂へ登拝修行を執行致します。例年の如く徒歩練習にあたり代参守りを有縁の皆様方に授与致します。

この代参守は、高尾山御本尊・飯縄大権現様から富士山まで続く祈りの道を修験者によって歩いて運ばれるものです。

道中、各参拝所で、東日本大震災により被災された方々のご安全、被災地の早期復興、国土安穩の祈りを込めながら、富士山頂での法楽においては、申込者の御芳名を読み上げ、諸願の成就を祈念いたします。

その後、高尾山麓での成満柴燈大護摩供にて御守を御加持したのち、登拝修行期間中、御宝前にて祈願されている碑伝木札と共に授け致します。

古式に則り高尾山より歩いて参拝する、富士詣「霊峰富士登拝修行」の代参守、本年一年の、諸縁吉祥・諸願円満の為に、ここにおすすめ致します。

尚、代参守は高所運搬が伴うため、数量に限りがあります。ご了承ください。

授与料

代参守と碑伝合わせて
一体壹千円以上
申し込み

山上・お護摩受付所又は、葉書に、郵便番号・住所・氏名(富士山頂にて御芳名の読み上げを致しますので必ずフリガナを明記して下さい。)
電話番号を明記して、左記までお申し込み下さい。
締切 七月三十一日(月)

〒一九三二八六八六

八王子市高尾町二二七七
大本山高尾山薬王院内
富士登拝事務局



高尾山子供やまぶし修行体験会

高尾山へ古来より伝わる、やまぶし(山歩き)の修行を体験してみませんか? 山に広がる大自然の中で、やまぶしと共に滝に打たれたり、山歩きをして困難や試練に耐える強い心を鍛えてみましょう。

夏休みの思い出作りとしても、是非ご参加下さい!

記

日 時 平成二十九年八月六日(日)
午前八時より午後四時ごろ

場 所 高尾山麓不動院 午前八時集合

参加費 五千元

対象者 小学生 定員八十名

申込期間 六月二日(木)より七月二十八日(金)まで

行 程 出発→滝行(琵琶蓮)→山歩き(自然研究路)→食事・腕輪念珠作り(薬王院)→柴燈護摩修行(参加(有喜苑)→下山(ケーブルカー使用)→不動院到着・解散

*定員八十名(先着順)とさせていただきます。

*ご参加希望の方は、先の連絡先までハガキにて、参加児童の氏名・学年・性別・住所・電話番号・緊急連絡先を必ず明記の上お申込下さい。

〒一九三二八六八六 八王子市高尾町二二七七番地 以上

高尾山秀峰会事務局

電話(〇四二)一六六一二二一五
FAX(〇四二)一六六四二九九

高尾山 四季の草花

110

カヤラン 梔蘭

ラン科・カヤラン属



この花の葉が楯に似ている事からこの名前があります。

日本固有種の着生ランの一種で、樹幹や枝に根を露出させて着生します。四月、葉腋から細い花茎を出し、二個から十個位の淡黄色の花を付けます。唇弁に赤紫色の筋や斑点があります。葉は先が尖った披針形で、左右二裂に互生し、常緑で革質です。

着生する木の種類は特に選ばず、杉や梅の木などのやや高い位置に着生し、大きくなり花を咲かせます。高尾山では、日影沢林道のキャンプ場付近の木々の上部を探すと見られますが、花が小さいので慣れないと見落としてしまいます。

(撮影:文 中村 毅人)

厄年を過ぎた

御信徒の皆様へ

六十才の厄年を過ぎたなら
一年・一年を

七十才を過ぎたなら
暑さ、寒さを

八十才を過ぎたなら
春夏秋冬を

九十才を過ぎたなら
一日・一日を

気を付けられ
日々を大切に

圓滿にお暮し下さい

当山では皆様の

身体健全(寿命長久)を折念して

福壽圓滿の

御護摩を

お申し受け致しております。

院内散歩④

～薬王院の展示物～



チェーンソーアート「みみずく」
作・城所ケイジ

高尾山報助成金志納者 御芳名(順不同敬称略)	高尾山報助成金志納者 御芳名(順不同敬称略)
町田市 小川 恭史	あきる野市 南波 和子
立川市 小坂 金重	新座市 高橋 久子
八王子市 友井 葉子	三郷市 中西 小夜子
市川市 山本 千枝子	加須市 坂本 隆志
所沢市 市川 昇	秩父市 茂木 勉
新座市 彰山 粧麗	児玉市 加藤 正一
高崎市 浅間 武	比企郡 松本 清
葛飾区 永山 和史	八王子市 十二日茶屋
茅ヶ崎市 椎野 佳子	本庄市 福田 一夫
世田谷区 広田 俊道	草加市 小河 浩満
多野郡 黒沢建設(株)	北区 鈴木 あい子
前橋市 (有) 口組	世田谷区 OYABU・
墨田区 片男波 良二	RTKオフィス
秩父市 秩父二心真正講	大敷 龍子
文京区 海老根 有市	大敷 貴彦
川崎市 笠井 美子	大敷 克彦
相模原市 比留間 榮子	高尾山健康登山者一同